

令和２年度みやざき木づかい県民会議総会資料

日時：令和２年１２月２２日(火)

午前１０時から１２時

場所：県庁本館２階 講堂

次 第

- 1 開 会
- 2 会長挨拶（会長 宮崎県知事）
- 3 「みやざき木づかい」感謝状贈呈
- 4 記念撮影
- 5 事例発表
- 5 県の取組成果報告
「みやざきWOOD LOVE キャンペーン」
- 6 講演 講師 難波裕扶子 氏
演題 「私がかわる 未来もかわる」
～SDGs視点から考えるきづかい運動～
- 7 質疑応答
- 8 閉会の挨拶（副会長 宮崎県木材協同組合連合会会長）
- 9 閉 会



今こそ、**みやざきの木!**

みやざき木づかい県民会議の取組方針

「みやざき元気！“地産地消”県民運動」と連携し、木材の良さや利用することの意義について理解と認識を深め、「知ろう」、「使おう」、「広げよう」を基本理念に、普及・啓発を行い、県民一人ひとりまで浸透させ、県民全体で「木づかい」に取り組む。

木づかい運動のイメージ



知ろう

- ・木材の良さや利用することの意義
- ・「木育」への理解



使おう

- ・木造住宅・公共施設等での県産材の利用促進
- ・公共土木事業での木材利用の促進
- ・木製品などの利用促進
- ・「木育」の実践

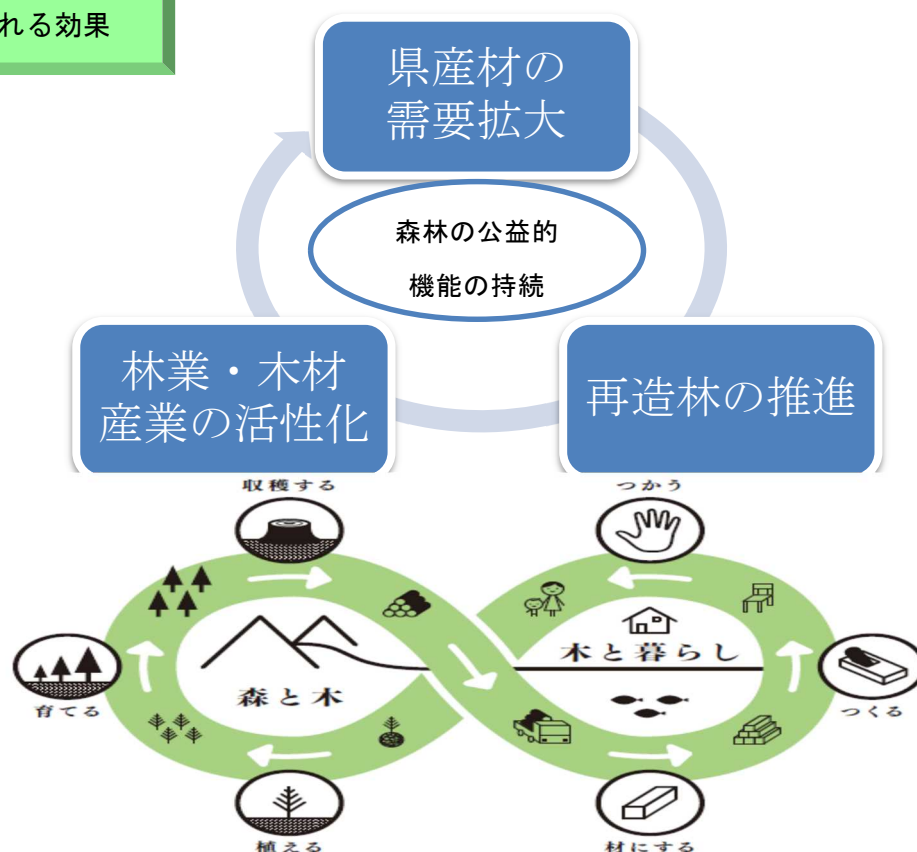


広げよう

- ・木材利用の普及・啓発
- ・「木育」の普及

木づかいによる森づくり

期待される効果



令和２年度 「みやざき木づかい」感謝状贈呈者の概要

（１）県産材利用部門

- ① 椎葉中央保育所（椎葉村）
- ② 椎葉村交流拠点施設「katerie」（椎葉村）
- ③ ちゃいるどベーす・IDEKITA（延岡市）
- ④ 西都ふたば幼稚園（西都市）
- ⑤ 有限会社河野俊郎酒店（宮崎市）

（２）県産材普及・啓発部門

- ① 宮崎県立宮崎工業高等学校
- ② 宮崎大学 工学部 ものづくり実践センター

「県産材利用部門」

① 椎葉中央保育所（椎葉村）（実施主体：椎葉村）

- 特徴：施設は、木造平屋建てで、大自然の中で椎葉村産の木のぬくもりに囲まれて安心して子供たちが成長できる場所を目指しており、敷地内に交流拠点施設や公園が併設されていることにより豊かな子育てが可能となっている。間仕切りや棚を可動式とすることで人数により空間の広さを調整できるよう、時代の変化に対応できるよう設計されている。また廊下と部屋を仕切るドアには通常の内窓とは別に小さな内窓が取り付けられ、背丈が小さな子供も廊下をのぞける仕掛けになっているなど様々な工夫が凝らされている。



②椎葉村交流拠点施設「katerie」（椎葉村）（実施主体：椎葉村）

- 特徴：施設は、鉄骨造2階建てであるが、内層は木質化され、木のやさしさがあふれた作りになっている。1階は木製遊具や木のおもちゃなどがたくさん置いてあるキッズスペースや交流ラウンジ、ものづくりのLABなど様々な遊び場がある中、仕切りは少なく、非常に広々とした空間が創出されている。また、プログラムに沿って木材を加工してくれる機械「ShopBot」が導入され、木工体験も楽しめるなど、今後も「木」を通じて地域の活性化が図られることが十分に期待できる施設となっている。



③ ちゃいるどべーす・IDEKITA（延岡市）

（実施主体：社会福祉法人 方財福祉会）

- 特徴：施設は、乳幼児対象の保育園で、木造 2 階建てで、表面部分が燃えても構造耐力上問題のない燃えしろ設計による準耐火建築となっている。吹き抜けの構造で、保護者の参観の際は 2 階からのぞける工夫がされており、スギ材の無塗装を床板として使用し、乳幼児が床を這っても安心の造りになっている。構造体としての強度を増す役目を持つ「筋交い」を化粧材として開口部に設け、子供が遊ぶおもちゃを張り付けるなど木質感を強調しつつユニークな用途として使用されている。



④ 西都ふたば幼稚園（西都市）（実施主体：学校法人 穂北学園）

- 特徴：施設は、木造平屋建ての幼稚園である。屋上にフラットな4つの円形の空中園庭を設け、避難場所と遊びを融合した回遊性と遊び心のある楽しい空間を創出している。屋上に設置している白い筒はランチルームの天井と繋がっていることでそこから光が差し込む仕掛けになっている。また、ランチルームの柱は、木の枝のように演出された方杖が設置され、また、天井には木の葉の形をした杉板を園児が自分たちで塗り上げてランダムに取り付け、森の中の木漏れ日の中にいるような楽しい空間になっている。



⑤河野俊郎酒店（宮崎市）（実施主体：有限会社 河野俊郎酒店）

- 特徴：施設は、木造在来軸組構法の2階建ての酒販店・和菓子販売・イベントスペースのお店である。重なり合う屋根と、建物自体を水平にまっすぐ設計せずにくの字の美しいラインが入ることで存在が印象づけられる。
- 施主からの想いに、自然の力を最大限生かせる木造の建物で応えたいとこだわったこの建物は、単なる伝統的な工法やデザインではなく、清潔で新鮮な空間体験を実現しながらも店舗として落ち着きがあり、インパクトのある印象の商業建築を生み出すこととなった。



「県産材普及・啓発部門」

① 宮崎県立宮崎工業高等学校

➤特徴：当校は、木育ネットワーク部会と連携し、地域の循環資源である木材をテーマに高校生を対象とした伐採現場・木材加工企業等の現地見学会などを通して、森林・林業・木材産業の理解を促進し、実社会との繋がりを体感するとともに、「木」の持つ特性や素材としての可能性、さらにその背景を知る木づかい教育（木育授業）を実施している。

そうした取組をきっかけに、商業施設でのイベント（山形屋のもくもくパーク夏祭り）や、保育園での木育ワークショップに多くの生徒がボランティアとして参加するなど、継続的かつ自主的な活動として木育を実践している。



② 宮崎大学 工学部 ものづくり教育実践センター

- ▶特徴：当センターは、大学で唯一の機械加工施設を備えた、ものづくり教育の拠点である。センターでは、工学的観点から県産材の材料利点を生かした加工品の開発に積極的に取り組んでおり、木製型枠の強度とコストの検証をはじめ、家具の材料としての利用の検証、学内のランチルームや執務室の木製飛沫フェンスの製作、設置、オリジナル木製ネームプレートを県内外問わず、機会あるごとに関係機関に紹介するなど、県産材の普及啓発にも取り組んでいる。こうした取組を広く知ってもらうことで、林業・木材関係だけでなく、土木業界など、大学の知見を生かした木材の利用拡大への連携がさらに広がることが期待できる。



令和元年度の取組実績について

令和元年度実績

第1 木づかい運動推進事業

■ 事務局：山村・木材振興課／宮崎県木材協同組合連合会

1 木づかい県民会議開催・運営

(1) 幹事会の開催

日 時：令和元年7月9日（火）10:30～12:00

場 所：県木連 会議室

内 容：・「みやざき木づかい」感謝状贈呈者選考審査
・意見交換



木づかい県民会議(会場の様子)

(2) 県民会議の開催（知事出席）

日 時：令和元年8月5日（月）10:00～12:00

場 所：ニューウェルシティ宮崎2階 高千穂の間

内 容：① 「みやざき木づかい」感謝状贈呈

【木材利用部門】

- ・みやこのじょう児童学園（(福)みのり福祉会）
- ・児童発達支援センター あはは（NPO 法人 SUN クラブひまわり）
- ・日向市庁舎（日向市）

【普及・啓発部門】

- ・西臼杵林業振興協議会
- ・社会福祉法人 つくしんぼ福祉会

② 事例発表

（日向市庁舎（日向市）、西臼杵林業振興協議会、社会福祉法人 つくしんぼ福祉会）

③ 各委員（団体）木づかい取組実績、計画の報告、意見交換等



感謝状受賞者

2 地域みやざき木づかい県民会議の設置

(1) 地域木づかい県民会議の活動内容

① 木づかい運動に関する普及啓発、情報収集

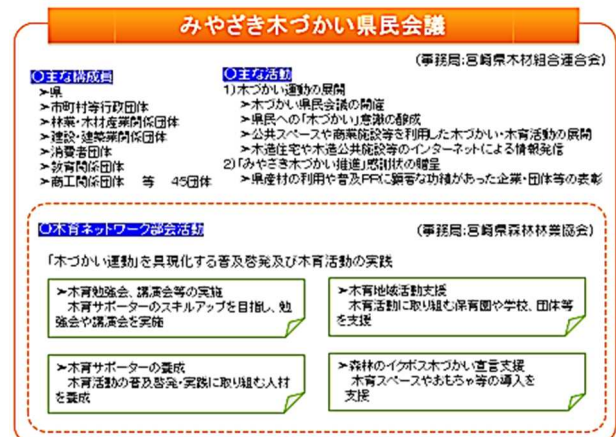
- ・地域木づかい県民会議の開催
- ・参画団体等への情報発信
- ・木づかい事例の情報収集
- ・木づかい運動の実践

② 木育活動

- ・保育園や学校、地域、団体等への普及啓発
- ・地域に根ざした木育活動の実践

③ みやざき木づかい県民会議との連携

- ・各地域の活動内容の情報提供
- ・木づかい事例の情報提供

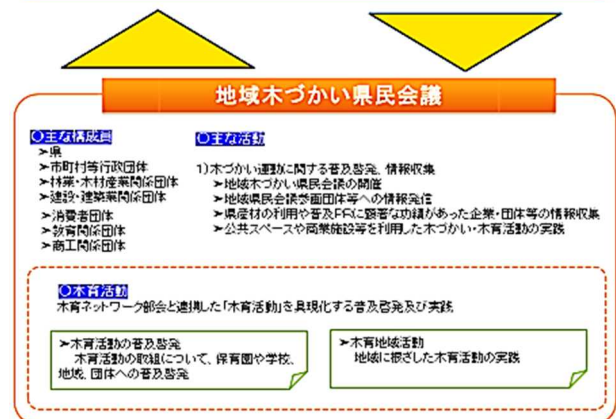


(2) 各地域の設立状況

西臼杵地区	令和2年3月6日
東臼杵地区	令和元年11月29日
児湯地区	令和元年11月13日
中部地区	令和2年度に実施
西諸県地区	令和元年12月23日
北諸県地区	平成31年2月22日
南那珂地区	令和元年11月7日

3 木づかい事例の情報発信

- ・ホームページによる情報発信
- ・木づかい事例集の作成、配布



4 「水と緑の森林づくり」県民ボランティアの集いの開催

主 催：宮崎県、宮崎県議会森林・林業活性化促進議員連盟、
木づかい県民会議

日 時：令和元年11月17日（日）

場 所：サンマリーナ宮崎（阿波岐原森林公園）

参加者：県民、団体等約500名

内 容：緑化功労者表彰、森林づくり活動（植栽・下刈り）



森林づくり活動(植栽の様子)

第2 木育活動推進事業

■ 事務局：山村・木材振興課／公益社団法人宮崎県森林林業協会

1 木育を推進するための情報収集・情報発信の実施

(1) 情報収集

① 県内の保育園等への木育活動取材や意見交換

県内保育園等で実施

② 木育先進地視察

視察日：令和元年11月12日（火）～14日（木）

視察先：岐阜県

- ・NPO musubi（代表 吉田理恵（ぎふ木育推進員、ぎふ木育協会事務局長））
- ・岐阜県立森林文化アカデミー（松井勅尚教授）
- ・モデル園（美濃保育園、下牧保育園）
- ・岐阜県庁（林政部 めぐみの森づくり推進課）

参加者：県職員、木育ネットワーク部会事務局、木育指導員候補者、木育サポーター、保育士



視察：下牧保育園(手作りのお箸で食事)

(2) 情報発信

① 木育かわら版

- ・年間3回発行、1回当たり1500冊作成
Vol 10（8月発行）、vol 11（12月発行）、
Vol 12（3月発行）
- ・木育ネットワーク会員及び県内の保育園、幼稚園、
認定こども園等へ配布



木育かわら版

2 木育ネットワーク部会活動

(1) 木育サポーター養成事業

日 時：令和元年6月15日（土）10:30～16:30

場 所：宮崎県西臼杵支庁 2階 大会議室

講 師：吉田理恵氏（NPO・musubi代表）

目 的：木育のサポート人材の育成

内 容：木育概論、ワークショップ、木育カフェ

参加者：24名



木育サポーター養成研修

(2) 木育ネットワーク部会全体会議（交流会）

日 時：令和元年7月6日（土）13:30～16:30

場 所：みやざきアートセンター 3階 創作アトリエ

内 容：① 今年度の部会の取組計画

② 県内の取組事例発表

- ・めぐみ保育園の取り組み
- ・ととろ保育園、つくしんぼ保育園の取り組み
- ・西諸地区の学校内での木育の取り組み
- ・西臼杵の木育活動の取り組み

③ 意見交換等

参加者：木育ネットワーク部会員33名



木育ネットワーク部会総会(事例発表)

(3) 木育サポータースキルアップ講座

① 木育研修会（保育士向けフォローアップ）

日 時：令和元年7月12日（金）13:00～15:00

場 所：西臼杵支庁2階大会議室

講 師：守川美輪氏（宮崎国際大学 准教授）

内 容：6月に実施した木育サポーター養成講座の振り返り
実践として、保育士と園児を対象にアイスクリーム
スプーンづくりを実施。

参加者：保育士、園児 14 名



木育研修会(保育士の木育実践)

② 木育ワークショップ実践講座

日 時：令和元年8月9日（金）～15日（木）

場 所：宮崎山形屋5階大崔場

内 容：「もくもくパーク夏祭り」内で、来場者にワークショップを実践しながら学ぶ講座

参加者：木育サポーター14名、宮崎工業高校インテリア科・建築科（ボランティア）28名

ワークショップ：（スプーンキット、さい銭箱、フォトフレーム、森のお守り、バードコール、色えんぴつ、ボールコロコロ、えんぴつ立て、花びん、ぞうさん、宝箱、トラック、昆虫・海の生き物、餌肥杉コースター、カスタネット、スギのうちわ、灯ろう）

来場者数：延べ9,236人（大人4,980人 子ども4,256人）



高校生ボランティアによるワークショップ



木育サポーターのワークショップ実践



会場内の木製遊具で遊ぶ子ども

(4) 高校生を対象とした木育授業の実施

高校生を対象に、地域の循環資源である木材(スギなど)をテーマに伐採現場・木材加工企業等への現地見学会などを通して、実社会との繋がりを体感するとともに、森林・林業・木材産業の理解を促進する木づかい教育(木育)の普及啓発を目的として実施。

○ 宮崎工業高校（インテリア科 38 名）

① 生徒向け林業・木材産業見学ツアー

日 程：令和元年10月8日（火）8:20～16:30

内 容：伐採現場、製材及びプレカット企業を見学

視察先：・株式会社松岡林産 伐採現場（綾町）

・都城木材株式会社 本社工場（都城市）

・ランバー宮崎協同組合（宮崎市高岡町）



生徒向けツアー(伐採現場)

② 保護者向け木材産業見学ツアー（保護者6名）

日 程：令和元年10月19日（土）9:00～16:00

内 容：製材及びプレカット企業を見学

視察先：・都城木材株式会社 宮村工場（三股町）

・株式会社川上木材（宮崎市跡江）

・ランバー宮崎協同組合（宮崎市高岡町）



保護者ツアー(プレカット工場)

③ 生徒向け事後学習会

日 程：令和元年11月5日（火）13:25～15:15

内 容：見学先企業の代表者との意見交換会

場 所：宮崎工業高校



企業と生徒とのトークセッション

④ 都市部における木材利用事例学習ツアー

日 程：令和2年1月8日（水） 11:00～15:00

内 容：修学旅行の機会を活用し、都市部における県産材を活用した施設等の見学やデザイナーとの意見交換

視察先：株式会社内田洋行 武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス



東京での施設見学(内田洋行)

○ 高千穂高校（普通科、経営情報科、生産流通科 180名）

① 林業・木材産業見学ツアー

日 時：令和元年10月25日（金）12:30～16:00

内 容：伐採現場、原木市場等の視察及び造林体験

視察先：・高千穂町林産物流通センター

・西臼杵森林組合 伐採現場、造林現場

・高千穂高校でのトークセッション



生徒による造林体験

3 木育プログラム開発及び指導者育成

（1）木育指導者育成

森林・林業、木材に加え、木育に関する幅広い知識を有し、木育活動に対するアドバイスやコーディネートができる人材の育成を図る。

日 時：令和元年6月13（木）～14日（金）9:00～16:30

場 所：宮崎県企業局 県電ホール

講 師：岐阜県立森林文化アカデミー教授 松井勲尚氏

T A：NP0 m u s u b i 代表 吉田理恵氏

内 容：木育指導員（仮称）候補者育成研修

（「スギの箱イス作り」を通じて木育の指導者の基礎としてのスキルを身につける）

対象者：6名

みやざき木育指導員に必要なスキル

◎木工道具の体験的理解

➢ 飢肥スギの箱椅子教材で道具のスキルを身につける

◎宮崎スギを中心とした木材の適材適所の体験的理解

◎宮崎県の森林（みやざきの造林）の理解

◎木育カフェ等の進行能力

- ・ 繋ぐ道具としての「玄能」
- ・ 切る道具としての「ノコギリ」
- ・ 仕上げの道具としての「紙ヤスリ」



木育概論



玄翁の使い方指導



ノコギリの使い方指導

（2）みやざき木育プログラム及び教材の開発

木育指導員を中心に木育サポーターと一体となった木育推進の体制づくりを目指すとともに、地域の特性や文化を背景に、みやざきらしい教材及び木育プログラムの開発を行うことを目指す。

今回は、木育推進に向けた体制づくりが進みつつある西臼杵を対象に実施。

① みやざき木育プログラムづくり（第1回）

日 時：令和元年8月26日（月）13:30～16:00

場 所：西臼杵支庁2階大会議室

参加者：15名

保育士（木育サポーター受講者）

行政関係者（西臼杵支庁（林務、福祉）

高千穂町（農林、福祉））

教材開発アドバイザー（甲斐木工所（有）マルウッド）



みやざき木育プログラム及び教材づくり

木育指導員候補者（高見昭雄さん、小川考洋さん、田丸貴久さん）

地元関係者（教材開発協力者（地元有志）保育士、林業関係者、県、市町村）

内 容：各班に分かれ、地域の文化や誇りなどを見つめ直し、子どもたちに伝えたい想いや願いなどを教材のアイデアとしてまとめる。

② みやざき木育プログラムづくり（第2回）

日 時：令和元年9月17日（火）13:30～16:00

場 所：西臼杵支庁2階会議室

参加者：保育士（木育サポーター受講者）

行政関係者（西臼杵支庁 高千穂町）

教材開発アドバザー（（有）マルウッド）

木育指導員候補者（小川考洋さん、田丸貴久さん）

内 容：前回まとめた教材のアイデアの中から、保育園で実践したい教材を話し合い、製作に向けた協議を行う。



教材の開発協議



神楽鈴のアイデア図

③ みやざき木育プログラムづくり（第3回）

日 時：令和元年10月17日（木）13:00～16:00

場 所：西臼杵支庁2階会議室

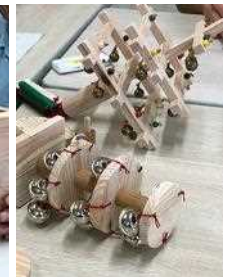
参加者：保育士（木育サポーター受講者）

行政関係者（西臼杵支庁（林務））

教材開発アドバザー（甲斐木工所）

木育指導員候補者（小川考洋さん、高見昭雄さん）

内 容：試作した教材について、現場の意見等を踏まえてブラッシュアップする。



試作した教材（整理箱、神楽鈴）

④ みやざき木育プログラムづくり（第4回）

日 時：令和元年11月12日（火）～13日（水）13:00～16:00

場 所：百年公園（岐阜県関市）岐阜県立森林文化アカデミー

講 師：NPO musubi 代表 吉田理恵氏

T A：岐阜県立森林文化アカデミー教授 松井勲尚氏

参加者：保育士（木育サポーター受講者）

行政関係者（西臼杵支庁、高千穂町）

木育指導員候補者（小川考洋さん、高見昭雄さん）

内 容：教材を活かしたプログラムを企画にまとめ、実践を見据えながらブラッシュアップを図る。



先生の指導のもと、ブラッシュアップ作業



保育士さんも交えてプログラム検討

⑤ みやざき木育プログラムづくり（第5回）

日 時：令和2年月12日（水）～13日（木）9:00～17:00

場 所：宮崎県庁

メンバー：岐阜県立森林文化アカデミー教授 松井勲尚氏

NPO musubi 代表 吉田理恵氏

木育ネットワーク部会事務局（県／森林林業協会）

内 容：西臼杵での教材開発を参考に、県全体で活用できるスタンダードなプログラムを開発する。

また、それらをベースにみやざき木育の方針を検討する。



木育方針の検討状況

4 木育活動支援事業

- (1) 間接補助：森林林業協会（補助率1／2以内）
- (2) 実績：2,000 千円
- (3) 内容：木育ネットワーク部会の地域木育活動を支援
- (4) 補助実績：16 団体

日向市民公益活動団体コンパス 宮崎中央森林組合 宮崎中部地区森林・林業振興協議会
 (一社)宮崎県建築業協会 都城地区木材青壮年会 延岡木青会
 日本ボーイスカウト宮崎連盟 日向木の芽会 小林十七日会 NPO 法人 サン・ヴィレッジ
 (福)恵浄福祉会(めぐみ保育園) (福)森と風の郷(四季の森こども園)
 (福)エンゼル会(上長飯認定こども園) Tree alive(合)
 (学)坂本学園幼保連携型認定こども園(生目幼稚園) WOOD PLUS

○ 保育園等での木育活動



5 森林（もり）のイクボス木づかい宣言支援事業

- (1) 本課執行：補助率1／2以内
- (2) 実績：1,632 千円（予算額3,000 千円 1 件あたり上限額50 万円）
- (3) 内容：木育活動を推進するために必要な施設整備等を支援
- (4) 補助実績：5 団体

(福) 森と風の郷(四季の森こども園) (福) 恵浄福祉会(めぐみ保育園)
 (福) つくしんぼ福祉会(つくしんぼ保育園) (福) エンゼル会(上長飯認定こども園)
 (福) 木花福祉会(木花こども園)

○ イクボスで整備したおもちゃで遊ぶ子どもたち



大工さんになろうコーナー



ボルダリングコーナー



大きな木の積木

6 木育ネットワーク部会の構成状況 (令和2年3月31日現在)

① 幼稚園・保育園等	本会員	39 団体	賛助会員	14 団体
② 市町村、企業、団体	本会員	58 団体	賛助会員	22 団体
③ 木育サポーター	本会員	23 名		
計	本会員	97 団体 23 名	賛助会員	36 団体

みやざき木づかい県民会議における各団体の令和元年度の取組実績

団体名	知ろう	使おう	広げよう
公益社団法人 宮崎県森林林業協会	・木育に関する一定の指導力を有するサポーターを養成する講座(6月15日)を開催した。 ・木育ネットワーク部会員を参集し、県内各地の取組事例等を学ぶ研修会(7月6日)を実施した。 ・森林・林業、木材に加え、木育に関する幅広い知識を有し、木育活動に対するアドバイスやコーディネートができる人材育成研修(6月)を実施した。 ・地域の特性や文化を背景にみやざきらしい教材及び木育プログラムの開発を行った。 ・森林・高校生を対象とした木育教室を高千穂高校(生徒向け林業・木材産業見学ツアー(10月25日)と宮崎工業高校インテリア科(生徒向け林業・木材産業見学ツアー(10月8日)、生徒向け事後学習会(11月5日)、都市部における木材利用事例見学ツアー(1月8日))で実施した。	・木育活動に取り組む団体に対して、木材購入経費等の支援を行った。 ・木育ネットワーク部会員が取り組む自主的な木育活動に対して、木材購入費等の必要な経費について支援を行った。 ・県内の保育園・幼稚園等が木育活動を継続的に行うために必要な県産材のおもちゃの導入を促進するために「みやざきの木製品カタログ」を制作した。	・県内の商業施設等(宮崎山形屋(8月))で木育サポーターが来場者にワークショップを実践しながら学ぶ講座を実施した。 ・保育園や幼稚園等で木育活動を行う木育ネットワーク部会員に対して、木育パネルやつみき等の木育用具の無料貸出を行った。
宮崎県森林組合連合会	木花こども園で「木の香り」をテーマにした木育を実施。	木花こども園に木製遊具を寄贈。	木花こども園と木育に関する継続的な協力関係の構築。
宮崎県木材青壮年会連合会	・視察見学会 令和1年11月22日開催 島津邸、小林市役所、(株)BIG HOUSE、宮崎木材利用技術センターの視察見学		宮崎県木材青壮年会連合会 会員宮崎大会 令和1年10月5日開催 場所 イオン宮崎ショッピングセンター(2Fイオンホール)
特定非営利活動法人 宮崎文化本舗	・木工教室の作成 ・耳川森林組合と共催で、宮崎市内の親子を招待し森林林業の体験事業を実施	・デザイナーズ家具の販売(コイヤ事務局)で宮崎県産材をPRするための準備会議を開催 ・宮崎県産材を使った木工製品の展示(コイヤ協議会)	・年間を通じて木育遊具・玩具を希望する団体に貸し出し。
一般社団法人 宮崎県建築士会	・建築士会内部に設立した木造研究会にて、新たな木構造と木の活用等について検討するとともに会員に提供。 ・宮崎県で実施されている「木造マイスター養成講座」に会員参加		・宮崎交通バス停のうち、宮崎市内のバス停を、木材の良さを活かし利用者に優しく景観に配慮したデザインにて造りかえる事業の協力をした。
一般社団法人 宮崎県建設業協会	必要に応じて会員等へ普及・啓発を行った。	本会事業において、県産材の利用促進を図った。	必要に応じて県産材の普及・啓発を図った。
一般社団法人 宮崎県建築業協会		・県内各地において県産材を使用した木工教室を開催し、多目的箱、本立て、椅子、道具箱、郵便ポスト等を作成した。 ・令和元年度地域型住宅グリーン化事業において、木造住宅構	

		造材に県産材を 80%以上使用、押入壁材を宮崎県産材杉板張とした共通ルールの基取り組んだ。	
一般社団法人 宮崎県建築協会		会員企業が建築施工業者として、それぞれの事業活動の中で木材を積極的に活用した。	8月3日(土)に宮崎市の本郷公民館で令和元年度「親子木工教室」を開催致しました。
宮崎県家具工業会		「丸太からつくる杉の家具」として ・まなびの家具シリーズの学校用机椅子を民間施設等に納品。 ・茶道用「炉、及び、風炉兼用」点前棚の開発 近年、高齢者はもとより若い世代も脚が不自由で、茶道稽古や茶事に於いて正座が困難な人が多くなっている現状を鑑み、県産杉材を使用した当会オリジナルな立礼(椅子使用)式の点前棚を開発した。一部の棚は移動が簡単になるよう、ノックダウン式を採用している。	都城家具工業会と共同で都城地場産業振興センター主催の下記に出展及び共催。 ・「第6回匠のこころ in 都城〜工芸&ハンドメイドフェア〜」 ・「夏休み 親子でつくる体験教室〜木工教室〜Let's try to making "My desk"」
公益社団法人 宮崎県物産貿易振興センター			・ アンテナショップ(宮崎、新宿)による木工品の展示・販売 ・ 工芸品展示・販売会における木工品の展示・販売
宮崎大学	11/10、11/30-12/1に森林を利用した各種公開講座を行った ・ 11/10 ～林分調査の手法を学ぼう～ ・ 11/30-12/1 ～1泊2日の森林暮らし体験～ ・ 木工チャレンジコンテスト宮崎県大会(10/13)において、参加中学生を対象に、木材利用の意義について講演を行った。 ・ 延岡市で開催された木材利用推進セミナー(12/19)において、宮崎型 Ply Core CLT の概要と利用方法唐丹について講演を行った。	・ 大学で計画している「きっずサマースクール(小学生対象)」において 8/22 に実際に森林や木材を利用するイベントを行った。 ・ 12/14 に宮崎大学住吉フィールドで行われたフィールド開放行事において、主に田野フィールドの木材を用いて作られた木工品の販売を行った。 ・ 台湾への県産スギ材製品輸出を目指した関係づくり 台湾での県産スギ材耐朽性試験研究の研究費申請 国立台湾大学教授 2 名の宮崎招聘 国立台湾大学教授によるシンポジウム講演(日本木材学会九州支部大会(宮崎)) ・ 宮崎県木材利用技術センターと共同で、木玉製造装置の改良に関する研究を行った。 ・ 宮崎県木材利用技術センター及び韓国・忠南大学と共同で、宮崎型 Ply Core CLT の研究を行った。 ・ 宮崎大学附属幼稚園において、「マイ箸作り」(12/5)、「木玉人形作り」(12/12)の木育活動を行った。 ・ 工学的観点から県産木材の材料利点を活かし、加工品に積極的に利用した。 ①田野フィールドの木材を用いて来学者や海外協定締結校へのお土産品(顔写真入りネームプレート等)を製作 ②コンクリート型枠用合板と杉	・ 田野フィールド(演習林)において木材利用の促進に伴い伐採未経験者による事故発生防止とリスク軽減を目的に2回公開講座を行い安全な伐採作業、チェーンソーの取扱や整備等林業の基礎を講義した。 ・ 田野フィールド(演習林)においてみやだい wakuwaku 体験 Day イベントとツリークライミングイベントにて2日間ツリークライミングの体験会を開催し親子の親睦と森林環境教育を行った。 ・ 公開森林実習でツリークライミングの体験を行った。 ・ 田野フィールド(演習林)において、ツリークライミングジャパンと共催でツリークライミング普及と森林環境教育のイベント開催スタッフ養成も兼ねてベシクツリークライマー講習会を行った。 ・ 学校教員を対象とした教員免許状更新講習(生活科における環境教育と木育)を実施した。(8/17、18) ・ 宮崎大学が実行委員となり、日本木材学会九州支部大会(9/12、13)を宮崎市民会館で開催した。 ・ 教育学部2年生対象の講義「生活」において、木育に関する内容の講義を行った。(12/5、12)

		角材を用いたコンクリート型枠を製作	・木育の学校教育への導入に関する研究を継続して行い、小学校教員向けの木育ガイドブック「木を伐って使うということ」を作成した。 ・学生実験の中で将来の土木技術者に対して県産木材をPR ①コンクリート試験体作製の中で県産木材を使用した型枠の紹介 ②県産木材の特徴を紹介（早材の厚さが他県の物よりも厚いため、コーススレッド（木ネジ）を使った組立てが容易で割れにくい、など）。
一般社団法人 宮崎県保育連盟連合会	会員 318 ヶ園が県産材を積極的に使うようにしています。		
NHK 宮崎放送局	詳細は別紙のとおり		
宮崎森林管理署	5月11日（土）、宮崎市 生目の杜運動公園で開催された「食フェスタ in みやざき2019」にて当署のブースを出展しました。 今年度は、木工体験（キーホルダー・表札づくり）やクイズ形式の森林教室を実施し、積極的に国有林及び木材のPRを行いました。		
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター宮崎 水源林整備事務所		水源林造成事業の作業道新設・修理に使用する構造物について、積極的に県産の丸太を使用しています。 （令和元年度の丸太使用実績約 1,400 m ³ ）	
宮崎県木材協同組合 連合会	・集客力のある建材展や展示会へ出展し「みやざきスギ」のPRを行った。 ・みやざきスギを活用した住宅の特性や魅力について、県民へ理解を深めていただくために、バスツアーを2回（11月2日、11月23日）開催した。 ・木造住宅建築物に関するセミナーを実施した。	・産直住宅に取り組む工務店等が行う木造住宅のPR活動の支援を行った。 ・「選手村ビレッジプラザ」に使用する木材を県内市町村や製材工場、プレカット工場の協力を得て提供した。 ・住宅・非住宅の外構部（木柵・デッキ等）の木質化を促し、木材需要の拡大を図るための支援を行った。	・事例集「MIYAZAKI KIDUKAI Compilation」を発行し、関係機関、団体へ配布した。 ・みやざき木づかい県民会議のホームページにて、木材を使った建築物4件（みやこのじょう児童学園、児童発達支援センターあはは、有限会社河野敏郎酒店、高級食パン 寄本ベーカリーカフェ宮崎店）の情報を発信した。 ・令和元年度みやざき木づかい県民会議総会において、木づかい推進感謝状の対象者5件（みやこのじょう児童学園、児童発達支援センターあはは、日向市役所、西臼杵林業振興協議会、社会福祉法人つくしんぼ福祉会）へ贈呈を行った。

取組内容： 木育研修、木育支援

写 真	コメント
	▶木育指導員(仮称)候補者育成研修 森林・林業、木材に加え、木育に関する幅広い知識を有し、木育活動に対するアドバイスやコーディネートができる人材育成研修を実施した。 日時：令和元年6月13日～14日 9時～16時30分 場所：県企業局県電ホール
	▶みやざき木育プログラム及び教材の開発 地域の特性や文化を背景にみやざきらしい教材及び木育プログラムの開発を行った。 実施日：令和元年8月～2月(計5回) 場所：西臼杵支庁他
	▶木育活動支援 木育ネットワーク部会員が取り組む自主的な木育活動に対して、木材購入費等の必要な経費について支援を行った。

取組内容： 木育研修・勉強会

写 真	コメント
	▶木育サポーター養成講座 木育に関する一定の指導力を有するサポーターを養成する研修会を開催した 日時：令和元年6月15日 10時～16時30分 場所：西臼杵支庁2階 大会議室
	▶木育ネットワーク部会全体会議(交流会) 木育ネットワーク部会員を参集し、県内各地の取組事例等を学ぶ研修会を実施した。 日時：令和元年7月6日 13時30分～16時30分 場所：みやざきセンター3階 創作アトリエ
	▶木育サポータースキルアップ講座 宮崎山形屋で開催している「もくもくパーク夏祭り」内で、木育サポーターが来場者にワークショップを実践しながら学ぶ講座を開催した。 日時：令和元年8月9日～15日 10時～17時 場所：宮崎山形屋5階 大催場

取組内容： 木育勉強会

写 真	コメント
	➤高校生を対象とした木育授業 地域の循環資源である木材をテーマに伐採現場・木材加工企業等への現地見学会を実施した。 ①宮崎工業高校 インテリア科 2年生 生徒向け林業・木材産業見学ツアー 日時：令和元年 10 月 8 日 8 時 30 分～16 時 30 分 場所：綾町、都城市、宮崎市高岡町
	➤高校生を対象とした木育授業 現地見学会に対応して頂いた企業の経営者等を学校に招き、意見交換会を実施した。 ②宮崎工業高校 インテリア科 2年生 生徒向け事後学習会 日時：令和元年 11 月 5 日 13 時 25 分～15 時 15 分 場所：宮崎工業高校
	➤高校生を対象とした木育授業 修学旅行の機会を活用し、都市部における県産材を活用した施設等の見学やデザイナーとの意見交換会を実施した。 ③宮崎工業高校 インテリア科 都市部における木材利用事例学習ツアー 日時：令和 2 年 1 月 8 日 11 時～15 時 場所：(株)内田洋行、武蔵野美術大学 市ヶ谷キャンパス

取組内容： 木育勉強会

写 真	コメント
	➤保護者を対象とした木育授業 宮崎工業高校の保護者を対象に地域の循環資源である木材をテーマに木材加工企業等への現地見学会を開催し、企業の経営者を交えての意見交換会を実施した。 ④宮崎工業高校 保護者向け木材産業見学ツアー 日時：令和2年10月19日 9時～6時 場所：都城市、宮崎市
	➤高校生を対象とした木育授業 地域の循環資源である木材をテーマに伐採現場・木材加工企業等への現地見学会を実施した。 ④高千穂高校 1年生 生徒向け林業・木材産業見学ツアー 日時：令和元年10月8日 8時30分～16時30分 場所：綾町、都城市、宮崎市高岡町
	➤木育用具の無料貸出 保育園や幼稚園等で木育活動を行う木育ネットワーク部会員に対して、木育用具の無料貸出を行った。

取組内容： 木花こども園との「山と木とこどもを結ぶ木育空間づくりプロジェクト」

写 真	コメント
	こども園とともに木製遊具をデザインし、施工。その施工費の一部を助成し、一部寄贈というかたちをとった。
	木花こども園で本会が一部寄贈した遊具をもちいながら、木の香りをテーマにした木育を実施した。

取組内容： 視察見学会

写 真	コメント
	令和1年11月22日開催 都城島津邸の様子
	小林市役所の様子
	(株)BIG HOUSE の工場内の様子 (上) 2×4工場 (下) 工場内

取組内容： 視察見学会

写 真	コメント
	木材利用技術センター

取組内容： 会員宮崎大会

写 真	コメント
	《みやざきスギ広場で遊ぼう！》 イオン宮崎ショッピングセンター 令和1年10月5日 会場全景
	木製遊具の体験展示

取組内容：特定非営利活動法人 宮崎文化本舗

写 真	コメント
	耳川森林組合と共催で、宮崎市内の親子を招待し森林林業の体験事業を実施。 2019年11月23日 応募で集まった宮崎市内の親子7組で、美郷町での林業体験、林業現場の見学会を実施
	コイヤ協議会の事務局として、宮崎県産材を使った家具（DIY 製品）の販売を行うための準備を行った。 試作品の作成及び展示会への参加、EC サイトの制作を行った。 平成20年4月より販売開始の予定で動いていたが、コロナ感染拡大の為スケジュールを再調整、2020年11月に販売開始。 https://koiya.org/
	年間を通じて木育遊具・玩具を希望する団体に貸し出しを行った。

取組内容： 教育機関（宮崎大学附属小学校）近接のバス停を、木材の良さを活かした、利用者の中でも特に子ども達に優しく景観に配慮したデザインにて造りかえる事業の協力。

写 真	コメント
●…待つ間に測ってー。 宮崎市花殿町の宮崎交通・花殿町バス停の柱が身長計になっている＝写真。50、190の5cm間隔で目盛りが刻まれ、利用客らは「珍しい」と興味津々。 ●…同バス停は近くの宮崎大附属小児童が利用。3月下旬のバス停一新に合わせて、同社と同大附属中の生徒が、「登下校時に測り、成長を感じてほしい」と考案した。 ●…児童が描いた絵を別の柱に掲示することも企画している。同社担当者は「末永く親しまれるバス停になれば」と、地域のシンボルとして子どもたちと一緒に育つことを願う。 (河野文頭) 	事前に、宮崎交通・宮崎市・建築士会（景観まちづくり部会）でつくる「みやざきをつなぐ〈バス停〉を創る会」で製作場所やデザインを検討のうえ、別場所にて建築士会員にて製作し、関係者で現地建て込み完了。 今回は、附属小学校近接のバス停という事もあり、子ども達に木の温もりをと優しさを感じてもらうだけではなく、待ち時間に本を読める様なベンチを配置したり、側面に身長が測れるメジャーを組み込む等の付加価値を付け加えた、楽しいバス停づくりを試みた。

宮崎日々新聞掲載記事



取組内容： 創立70周年記念事業

写 真	コメント
	令和元年で本会創立70周年。 記念事業の記念品として、飢肥杉写真 立てを選定。 関係者各位へ贈呈。

取組内容： 親子木工教室

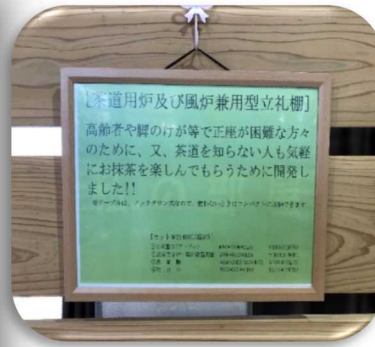
写 真	コメント
	開催日：令和元年 11 月 16 日(土) 会場：宮崎市檣小学校 ・当協会員 14 名の指導の下、60 組の親子を対象に木工教室を開催しました。今回は、本立てを制作しました。
	開催日：令和元年 11 月 23 日(土) 会場：宮崎市港小学校 ・当協会員 12 名の指導の下、30 組の親子を対象に木工教室を開催しました。本立てを制作しました。
	開催日：令和元年 10 月 26 日(土) 会場：児湯郡高鍋町舞鶴公園 ・当協会員 11 名の指導の下、50 組の親子を対象に木工教室を開催しました。すのこを制作しました。

取組内容： 親子木工教室

写 真	コメント
	親子木工教室全景 木工教室には、親子連れ約 40 名が参加し、子供たちは木材の組み立てやくぎの打ち方などを部員から教わり本棚を作成した。

取組内容：

写 真	コメント
	夏休み 親子でつくる体験教室 ～Let's try to making "My desk" ～ My desk づくりに、 組み立てから塗装まで 熱心に取り組みました!! ダボ切りにも一所懸命挑戦しました!!



「第6回匠のころ in 都城」
～工芸&ハンドメイドフェア～
はたらく家具シリーズのパーティー
ーションと茶道用「炉及び風炉
兼用点前棚」を組み合わせ、茶
室をレイアウトしました。

「高齢者や脚の怪我等で正座
が困難な方々のために、又、茶道
を知らない人も気軽にお抹茶を
楽しんでもらうために開発しま
した」



キッズコーナーには、木片を積
み木として、又、千代紙を置いて
いたら好評で、 子供達はそれ
ぞれ作品をつかって遊んでまし
た。



取組内容： 木工品の展示・販売

写 真	コメント
	アンテナショップにおいて、高千穂神楽面(楠)、日向榎基盤などの伝統的工芸品、飫肥杉を活用した置物などの展示・販売を実施した。
 	県外百貨店、宮崎ブーゲンビリア空港などの催事において、木工品を取り扱う作家による展示・販売を実施した。 また、作家による実演なども合わせて開催した。

取組内容： 公開講座、きつずサマースクール、ツリークライミングの開催状況

写 真	コメント
	公開講座～1泊2日の森林暮らし体験～で森林内でヒノキの枝打ち体験をする親子
	きつずサマースクールにおける木材（竹材）を利用して自分たちで制作した竹馬等で遊ぶ小学生たち

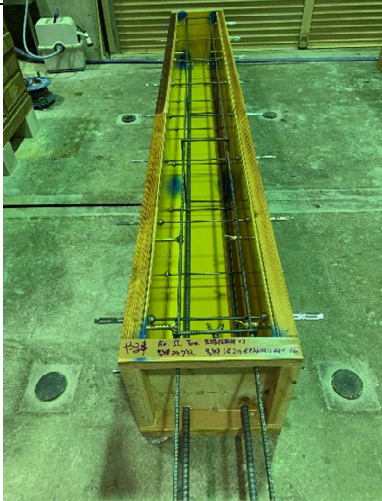


みやだい wakuwaku 体験 Day におけるツリークライミング体験の様子

取組内容：木育ガイドブック「木を伐って使うということ」を作成

写 真	コメント
	国内有数の林業県である宮崎において、小学生が森林・木材について多くのことを学べるように、まず、小学校の先生方に、森林や木材に関する授業を実践していただけるようなガイドブックとして、本書「木を伐って使うということ」(全23頁)を作成いたしました。今、木材を利用しなければならぬ理由を認識していただきたく、木材利用の意義について解説しています。

取組内容：コンクリート型枠の製作

写 真	コメント
 	・0.45 m×0.3 m×6 mの実験用コンクリート梁の型枠 ・骨組みとなる県産スギは、コーススレッド(木ネジ)を下孔無しで挿入しても割れにくいため、加工性に優れている。
 	・T形やL形などの形状であっても、軽量で加工しやすい杉材であれば比較的短時間で型組できる。
	・小型のコンクリート用型枠

(別紙)

令和元年度の取り組み 団体名 (NHK宮崎放送局)

ニュース・番組を通じて「知ろう」「使おう」「広げよう」といった各取り組みに関して広く県民に訴えていく。

(令和元年度取り組み実績)

【放送】

2019年8月30日

番組名：イブニング宮崎

タイトル：東京五輪選手村に使われる飢肥杉が出発

内容：東京五輪・パラリンピックの選手村の建設に飢肥杉が使用される。柱や梁に使われる飢肥杉がこの日から東京に輸送されることになり、日南市で記念式典を開催。製材や加工を施した木材を積んだトラックが拍手のなか出発する様子を取り上げた。

2020年1月7日

番組名：昼ニュース

タイトル：「再造林」の割合が6ポイント低下

内容：森林を切った跡地に再び苗木を植える「再造林」。土砂災害の危険性を減らしたり木材生産を続けていくために必要だが、平成30年度は前年度より6ポイント低い73%にとどまった。目標の80%を下回っており、「担い手の育成や再造林啓発に努める」という県の話などを交えて紹介した。

2020年2月7日

番組名：昼ニュース

タイトル：韓国の建築士が木造建築を学ぶ

内容：宮崎のスギを伝統的な建築技術とともに海外へ輸出しようと、県などが韓国の建築士に木造住宅をアピールした。宮崎市田野町の住宅建築現場には招かれた15人が集まり担当者の説明を聞いた。韓国の建築士の「韓国ではコンクリートの建物が多くて日本の建築に興味があり、宮崎の木材を取り入れた家を作りたい」との声なども紹介。

2020年3月2日

番組名：イブニング宮崎

タイトル：新型コロナがスギ丸太の輸出にも影響

内容：新型コロナウイルス感染拡大の影響で、スギ丸太の最大の輸出先である中国への出荷が難しくなった。中国国内で丸太を運ぶトラックが通行できなかったり、加工ができなくなったりしているため、複数の輸出業者に出荷を停止するよう要請が来ている、という状況を紹介した。

取組内容：木工体験、森林教室

写 真	コメント
	木工体験ブースでは、子供から大人まで幅広い年代の方が訪れ、宮崎県内のサクラの枝を使用した、キーホルダー作りやネームプレート作りを通して木のぬくもりを感じるすばらしい作品が完成しました。 このイベントを通して多くの方々に、森林や木材に親しみ、森林管理署及び木育を身近に感じていただける貴重な一日となりました。
	<u>森林教室</u>
	<u>木工体験</u>

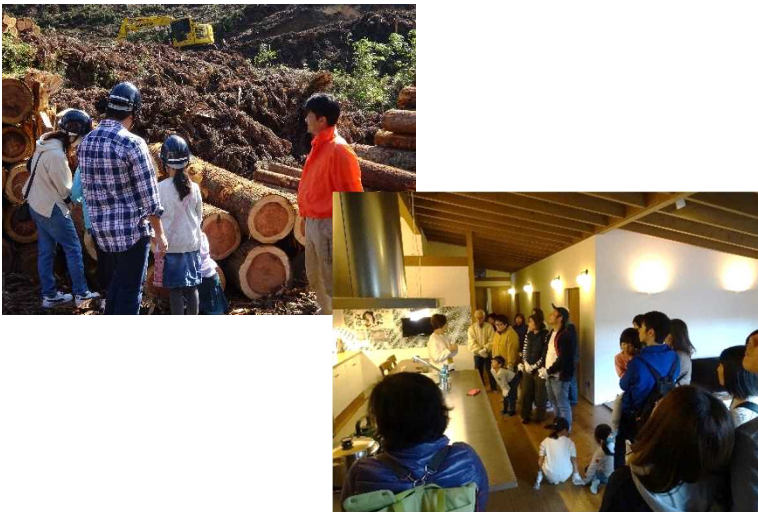
取組内容：水源林造成事業

写 真	コメント
	公共土木事業での木材利用の促進 丸太を活用した壊れにくい森林作業道に県産材を購入しています。 路肩工 路肩部の補強・安定を図る
	山側丸太工 法面の崩壊防止
	県産材購入利用

取組内容： 展示会への出展

写 真	コメント
	➤ ハウズ☆フェスタ（福岡） みやぎきの木材をPRし、アンケートを答えてくれた方にノベルティとしてみやぎきスギのタマゴをプレゼントした。みやぎき犬も参戦し、盛り上がりを見せた。 日時：6月13日～15日
	➤ 沖縄トータルリビングショウ ブースに立ち寄った人は、木造のスギの香を嗅ぎ「落ち着く香り」と感想をくださった。みやぎきスギをPRし、アンケートを回答いただいた方にノベルティとして、みやぎきスギのタマゴかコースターをプレゼントした。 日時：10月18日～20日

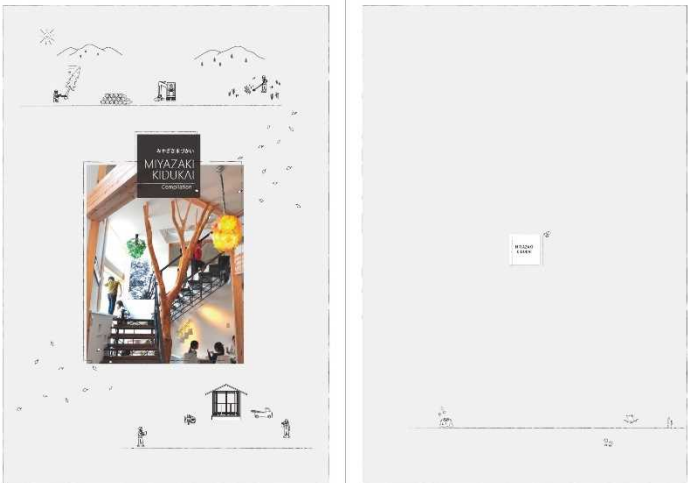
取組内容： 木造住宅のバスツアー見学会

写 真	コメント
	➤ 木造住宅バスツアー見学会 (1回目) 日時：2019年11月2日(土) 参加人数：21名 (2回目) 日時：2019年11月23日(土) 参加人数：24名

取組内容： 木造建築のセミナー開催

写 真	コメント
	➤ みやざき《飢肥杉》でつくる木造建築セミナー 場所：沖縄県 日時：2019年10月18日 参加人数：39名
	➤ みやざきスギ木造建築セミナー 場所：大阪市 日時：2020年2月14日 参加人数：44名

取組内容： 事例集の発行・配布

写 真	コメント
	➤ 事例集「MIYAZAKI KIDUKAI Compilation」の発行・配布 ・2,500部発行し、関係団体等に配布を実施。

令和 2 年度の取組内容について

令和2年度計画（一部実績）

第1 木づかい運動推進事業

■ 事務局：山村・木材振興課／宮崎県木材協同組合連合会

1 木づかい県民会議総会の開催・運営

（1）木づかい県民会議幹事会の開催

日 時：令和2年11月18日（水）

場 所：防災庁舎74号会議室

内 容：・「みやざき木づかい」感謝状贈呈者選考審査
・みやざき木づかい県民会議総会について
・意見交換

（2）木づかい県民会議総会

日 時：令和2年12月22日（火）

場 所：県庁本館2階 講堂

内 容：・「みやざき木づかい」感謝状贈呈
・事例発表
・みやざき WOOD・LOVE キャンペーン成果報告
・講師 難波裕扶子 氏
演題 「私がかわる 未来もかわる」
～SDG s 視点から考えるきづかい運動～

（3）地域みやざき木づかい県民会議との連携

・木製飛沫防止フェンスの寄贈（各地域木青会との連携）

2 木づかい運動の展開

・みやざき WOOD・LOVE キャンペーンの実施

※詳細は第2 参照

・防災庁舎でのパネル展示

3 木づかい事例の情報発信

・ホームページによる情報発信
・SNSを使った情報発信
・林野庁への情報提供、情報公開

4 「水と緑の森林づくり」県民ボランティアの集いの開催

主 催：宮崎県、宮崎県議会森林・林業活性化促進議員連盟、
木づかい県民会議

日 時：令和2年11月

場 所：未定

参加者：県民、団体等約500名

内 容：緑化功労者表彰、森林づくり活動（植栽・下刈り）



県民会議ホームページ



森林づくり活動(植栽の様子)

第2 みやざきWOOD・LOVEキャンペーン事業

■ 委託先 株式会社UMKエージェンシー

1 事業目的

宮崎県の豊かな森や木、木材を使うことの意義などを再認識し、木材を使った癒しの空間づくりなどを促す県民運動を展開することにより、落ち込む県産材需要の回復、拡大を図るとともに、新型コロナウイルスへの感染を防止しながら生活スタイルを変えていく「新しい生活様式」への移行に寄与する。

2 キャンペーン期間

令和2年10月1日（木）～12月31日（木）

3 事業内容

(1) 「みやざきWOOD・LOVEプロモーション」の実施

- ◆キャンペーンホームページ、SNSの作成・公開
令和2年9月
- ◆広報・広告物の制作
*テレビCMの制作・放送
令和2年10月から UMKテレビ宮崎・MR T宮崎放送にてオンエア
*新聞広告・雑誌広告の制作・掲載
- ◆印刷物の制作・掲示配布（ポスター・リーフレット）
令和2年10月 県内各所にて掲示・配布
- ◆テレビ番組の制作・放送
令和2年11月19日～ 12月24日（計6回放送） UMKテレビ宮崎にてオンエア

(2) 「みやざきWOOD・LOVE写真・動画コンテスト」の実施

宮崎の森や木への関心を高め、『木づかい』の啓発・促進を目的としたコンテストを実施。

名 称 : みやざきWOOD・LOVE 写真・動画コンテスト

作品受付期間: 令和2年10月1日（木）～11月20日（金）

対象者 : 宮崎県内在住者（年齢不問）

応募数 : 応募者 508 名 応募数 690 作品

表彰 : 令和2年12月5日 県庁講堂で実施

令和2年12月7日 ホームページにて入賞者・作品発表

令和2年12月24日 UMKテレビ宮崎で放送の番組内で入賞者紹介

「みやざきの木」部門・・・最優秀賞1名／優秀賞2名／佳作3名

「木の癒し空間」部門・・・最優秀賞1名／優秀賞2名／佳作3名

「木のぬくもり」部門・・・最優秀賞1名／優秀賞2名／佳作3名

「キッズ賞」・・・・・・最優秀賞1名／優秀賞2名／佳作3名

第3 木育活動推進事業

■ 事務局：山村・木材振興課／公益社団法人宮崎県森林林業協会

1 木育を推進するための情報収集・情報発信の実施

(1) 情報収集

保育園等への木育活動取材や意見交換

(2) 情報発信

- ・木育かわら版の作成
- ・年間3回発行、1回当たり1500冊作成
Vol 13（8月発行）、vol 14（12月発行）、Vol 15（3月発行）
- ・木育ネットワーク会員及び県内の保育園、幼稚園、認定こども園等へ配布



木育かわら版

2 木育ネットワーク部会活動

(1) 木育ワークショップの開催

日 時: 令和3年3月

場 所: アミュプラザ

実施方法: MR Tとの共催

内 容: 木育ワークショップ（一般対象）

スタッフ: 木育ネットワーク部会会員、木育サポーター研修受講者、ボランティア（高校生等）



(2) 高校生を対象とした木育授業の実施

高校生を対象に、地域の循環資源である木材(スギなど)をテーマに伐採現場・木材加工企業等への現地見学会などを通して、実社会との繋がりを体感するとともに、森林・林業・木材産業の理解を促進する木づかい教育(木育)の普及啓発を目的として実施。

○ 宮崎工業高校 (インテリア科)

① 生徒向け林業・木材産業見学ツアー

日 程：令和2年9月29日(火)

内 容：伐採現場、製材工場等の見学

参 加：生徒40名 先生2名



伐採現場見学



プレカット工場見学

② 生徒向け事後学習会

日 程：令和2年11月10日(火)

内 容：見学先企業との意見交換会

場 所：宮崎工業高校

③ デザインワークショップ

日 程：令和2年6月～11月

目 的：宮崎の誇る森林資源を生かした新しい「くらしの提案、ものづくり」を、デザイン思考、プロトタイピングを通じて体験し、学生たちが、広く社会の様々な人たちや産業に触れ、学び、地域や社会に関わる人材として成長することを促す。

内 容：宮崎大学及び武蔵野美術大学と連携し、みやざきの「木」でつくるデザインワークショップを実施。テーマは、コロナ禍の今、この社会的課題を自分事として捉え、解決するためのデザインを提案するもので、武蔵野美術大学の先生からリモートにより指導。



リモートによる指導



生徒の提案

(3) 木育勉強会

① SDGs勉強会

目 的：県が推進する「木づかい・木育」の取組について、「SDGs」における17の目標と169のターゲットを正しく学び、課題解決に向けた取組として考えることで、社会的課題の中における位置づけと施策の方針など、今後の「木づかい・木育」のあり方を考える基礎とする。

日 時：令和2年6月2日(火) 14:00～15:30

場 所：みやざきアートセンター

講 師：石田達也(いしだ たつや)

主 催：宮崎県森林林業協会(木育ネットワーク部会事務局)

共 催：宮崎県木材協同組合連合会(木づかい県民会議事務局)
宮崎県(山村・木材振興課)



勉強会の様子

② 林業・木材産業事業者向けの木育勉強会

目 的：木育の推進にあたっては、森林・木材産業界との連携、協力が必要不可欠であり、改めて木育に対する知識と教養を深め、産業界との認識の共有化を図り、より一層の木育の推進を図る。

対 象：宮崎県木材青壮年会連合会 会員 約20名

日 時：令和2年9月25日(金) 18:00～20:30

場 所：ホテルメリージュ(3階 鳳凰の間)

講 師：松井勲尚氏(木育実践研修者)

吉田理恵氏(ぎふ木育推進員、ぎふ木育協会副会長)



勉強会の様子

3 木育プログラムの開発及び木育推進に係る人材育成

(1) みやざき木育プログラム及び教材の開発

○ 目的

人と木や自然、地域の文化との関わりを通して、宮崎の木や森に対する愛着を育むなど、地域に根ざした木育活動を目指し、宮崎の文化や森林・木材資源をベースとした「教材」及び「木育プログラム」の開発に取り組む。

○ 対象プログラム

- 年少組 「磨く」プログラム
- 年中組 「切る」プログラム
- 年長組 「組み立てる」プログラム



(2) みやざき木育プログラム研修会

○ 第1回研修会

モデル園において、関係者を参集し、木育概論をはじめ今回の取組の相互理解や関係者間の意思疎通を図ることを目的とする。

①社会福祉法人 森と風の郷 四季の森こども園

日 時：令和2年7月9日（木）

内 容：木育概論、意見交換

参加者：講師 木育実践研究者 松井勲尚

NPO 法人 musubi 吉田 理恵

木育推進員候補者 緒方由紀子（みやざきアートセンター）

園長、保育士8名

②社会福祉法人 恵浄福祉会 幼保連携型認定こども園 めぐみ保育園

日 時：7月10日（金）

内 容：木育概論、意見交換

参加者：講師 木育実践研究者 松井勲尚

NPO 法人 musubi 吉田 理恵

木育推進員候補者 緒方由紀子（みやざきアートセンター）

園長、保育士14名参加

○ 第2回研修会

みやざき木育プログラム（年少前期「森の雫」）のリハーサルを行い、課題の抽出や必要な対応などを検証し、実践に向けたプログラムの修正を行う。また、モデル園の保育士及び地域サポーターに参加いただくことで、関係者の木育への理解を深めるとともに、目的の共有化を図り、モデル園での木育サポート体制の確立を目指す。

日 時：令和2年9月26日（土）10:00～16:00

場 所：四季の森こども園

内 容：第1部（午前） みやざき木育プログラムリハーサル

第2部（午後） 木育地域サポーター研修

○ 第3回研修会

みやざき木育プログラム（年少前期「森の雫」）の実践を通して、プログラムの最終確認を行う。

また、モデル園の保育士及び地域サポーター、地域の保育園にも幅広く参加いただくことで、子供を真ん中に置いた地域の未来へと繋がる木育の在り方を考える機会とし、関係者の理解を深め、目的の共有化を図るとともに、モデル園での木育サポート体制の確立を目指す。

場 所：① 四季の森こども園

日時：令和2年11月6日（金）10:00～14:00

② めぐみ保育園

日時：令和2年11月7日（土）10:00～14:00

参加者：進行 木育推進員候補者 緒方由紀子（みやざきアートセンター）

対象 モデル園保育士、木育地域サポーター

指導 木育実践研究者 松井勲尚

NPO 法人 musubi 吉田 理恵

4 木育活動支援事業

- (1) 予算：2,000 千円
- (2) 補助対象：木育ネットワーク部会会員（森林林業協会を通じての間接補助）
- (3) 内容：木育ネットワーク部会の地域木育活動を支援
- (4) 対象経費：木育活動に要する経費（報償費、需用費、役務費、使用料及び賃借料、原材料費）
- (5) 補助率：補助対象経費の1/2以内
（参加者数による上限額）
 - ① 20 名未満 5 万円
 - ② 20 以上 50 名未満 10 万円
 - ③ 50 名以上 20 万円

○ 保育園等での木育活動



5 森林（もり）のイクボス木づかい宣言支援事業

- (1) 予算：3,000 千円
- (2) 補助対象：木育ネットワーク部会会員
- (3) 内容：木育活動を推進するために必要な施設整備等を支援
- (4) 対象経費：本会員が木育活動を継続的に行うために必要な県産材を活用した木育空間等の整備やおもちゃの導入等に要する経費（賃金、需要費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、原材料費、工事請負費及び備品購入費）
- (5) 補助率：2分の1以内
（上限額）
1 件あたり 50 万円

○ イクボスで整備したおもちゃで遊ぶ子どもたち



大工さんになろうコーナー



ボルダリングコーナー



大きな木の積木

6 木育ネットワーク部会の構成状況（令和2年3月31日現在）

① 幼稚園・保育園等	本会員	39 団体	賛助会員	14 団体
② 市町村、企業、団体	本会員	58 団体	賛助会員	22 団体
③ 木育サポーター	本会員	23 名		
計	本会員	97 団体 23 名	賛助会員	36 団体

みやざき木づかい県民会議における各団体の令和2年度取組計画

団体名	知ろう	使おう	広げよう	イベント等の情報
公益社団法人 宮崎県森林林業協会	・みやざき木育プログラム推進モデル園にて木育活動をサポートする人向けの研修を実施(9月) ・木育ネットワーク部会員を参集し、県内各地の取組事例等を学ぶ研修会を実施予定。(12月) ・木育に関する幅広い知識を有し、木育活動に対するアドバイスやコーディネートができる人材育成研修を実施予定。 ・地域の特性や文化を背景にみやざきらしい教材及び木育プログラムの開発を行う。 ・高校生を対象とした木育教室を高千穂高校(生徒向け林業・木材産業見学ツアー(10月)と宮崎工業高校インテリア科(生徒向け林業・木材産業見学ツアー(10月)、生徒向け事後学習会(11月)、都市部における木材利用事例見学ツアー(1月)を実施予定。	・木育活動に取り組む団体に対して、木材購入経費等の支援を行う。 ・木育ネットワーク部会員が取り組む自主的な木育活動に対して、木材購入費等の必要な経費について支援を行う。 ・県内の保育園・幼稚園等が木育活動を継続的に行うために必要な県産材のおもちゃの導入を代々受け継いで促進するために「みやざきの木製品カタログ」を制作予定。	・県内の商業施設等で木育ワークショップを開催予定。(時期は未定) ・保育園や幼稚園等で木育活動を行う木育ネットワーク部会員に対して、木育パネルやつみき等の木育用具の無料貸出を行う。	
宮崎県木材青壮年会 連合会		木づかい県民会議と連携し、木製飛沫防止フェンスを製作、各市町村に配布。		
宮崎県森林組合連合 会	具体的な実施計画は特になし。状況や要請において本会にできることを企画・実行していく予定。	具体的な実施計画は特になし。状況や要請において本会にできることを企画・実行していく予定。 新たに移転先の事務所の内装を木質化する予定。	具体的な実施計画は特になし。状況や要請において本会にできることを企画・実行していく予定。	
特定非営利活動法人 宮崎文化本舗	・木工教室の作成 ・耳川森林組合と共催で、宮崎市内の親子を招待し森林林業の体験事業を実施	・デザイナーズ家具の販売(コイヤ事務局)で宮崎県産材をPR	・年間を通じて木育遊具・玩具を希望する団体に貸し出し。運賃送料は借主が負担。	
一般社団法人 宮崎県建築士会	・木造研究会を中心に木造建築における木材活用方法について研修を行う予定。 ・木造建築に見識の深い建築士の養成	・各方面の木質環境整備に協力予定。	・昨年に引き続き、宮崎交通バス停のうち、市内商業エリアのバス停を、木材の良さを活かし利用者に優しく景観に配慮したデザインにて造りかえる事業の協力をする。	
一般社団法人 宮崎県建設業協会	会員等へ普及・啓発を行う		県産材の普及・啓発を図る	
一般社団法人 宮崎県建築業協会	・木工教室開催時にパンフレットを使って普及・啓発を行う。	・年間10回程度の木工教室開催時に県産材を使用する。 ・令和2年度地域型住		

		宅グリーン化事業において木造住宅構造材、押入内壁材に県産材を使用する。		
一般社団法人 宮崎県建築協会	未定	会員企業がそれぞれの事業活動の中で、木材を積極的に活用していく。	親子木工教室を実施する。	現在のところ予定がありません。
宮崎県中小企業団体 中央会				10月に予定しているイベント行事で、木育活動が出来る場所を提供可能（駒大 15,000 円） 名称：第6回みやぎ the キッズモール 概要：中央会青年部会員が主体となり、こども向け職業体験ブースを設営 目的：地元の子供たちへの各業界の PR
一般社団法人 宮崎県工業会				・10月23日（金）、24日（土）に開催（宮崎県体育館）予定の『第27回みやぎテクノフェア』において、木製品の展示 PR（小問出展）可能。（出店料 1 小問 55,000 円税込）
宮崎県家具工業会				・第7回匠のこころ in 都城〜工芸 & handmade fair〜に出展 ・木工教室の開催
公益社団法人 宮崎県物産貿易振興 センター			・アンテナショップによる木工品の展示・販売を行う。 ・工芸品展示・販売会における木工品の展示・販売を実施する。	・新宿みやぎ館 KONNE において、イベントスペースを設けており、木育活動や木製品の展示・販売等に場所を提供可能。
宮崎大学	・田野フィールド（演習林）において、親子・一般人を対象とした各種公開講座を行う ・木工チャレンジコンテスト宮崎県大会において、参加中学生を対象に、木材利用の意義について講演を行う	・本学の開放事業において演習林の間伐材を利用した木工材の販売や木工体験を予定しており、木材を使用する ・田野フィールド事務棟改修工事において、田野フィールド産の木材の一部に使用する ・宮崎大学の企画である夏季限定学童保育「きっずサマースクール」において、小学生対象に木育を含むイベントを行う ・台湾への県産スギ材製品輸出を目指した関係づくり 国立台湾大学との学術交流協定を締結 台湾への国産材輸出のための耐久性試験の研究 ・宮崎県木材利用技術センターと共同で、木	・学校教員を対象とした教員免許状更新講習（生活科における環境教育と木育）を実施する ・木育の学校教育への導入に関する研究を継続して行う ・教育学部2年生対象の講義「生活」において、木育に関する内容の講義を行う ・コンクリート試験体の製作の際に、県産材で製作した型枠を紹介し、県産材の PR（鋼製型枠と比べて軽量、コーススレッド（木ネジ）を使った組立てが容易で割れにくい）に努める	

		玉製造装置の改良に関する研究を行う ・宮崎県木材利用技術センター及び韓国・忠南大学と共同で、宮崎型 Ply Core CLT の研究を行う ・みやざきアートセンターが行う「もくいく工作」において、木材加工の指導補助を担当する ・宮崎大学附属幼稚園において、「マイ箸作り」、「木玉人形作り」等の木育活動を行う ・工学部ものづくり教育実践センターで対応する学内の加工依頼において、県産木材を利用した製品（ネームプレート、衝立・仕切り板、消毒液ポンプスタンド、荷物棚 など）を提供する ・学内のコンクリート試験体の型枠製作に木材を使用する		
一般社団法人 宮崎県保育連盟連合会	会員 318 ヶ園が県産材を積極的に使うようにします。	会員 318 ヶ園が県産材を積極的に使うようにします。	会員 318 ヶ園が県産材を積極的に使うようにします。	
NHK 宮崎放送局	・前年度と同様に県内各地における木材関連の出来事や催事取材し、放送する。			
(株) 宮崎放送	新型コロナウイルスの影響で未定			
宮崎森林管理署	令和 2 年度は、新型コロナウイルスの感染症対策により未定			
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター宮崎 水源林整備事務所		水源林造成事業の作業道新設・修理において約 2,000 m ² の丸太を利用予定です。		
宮崎県木材協同組合 連合会	・集客力のある建材展や展示会へ出展し「みやざきスギ」の PR を行う。 ・みやざきスギを活用した住宅の特性や魅力について、県民へ理解を深めていただくためのバスツアーを開催する。 ・木造住宅建築物に関するセミナーを行う。	・産直住宅に取り組む工務店等が行う木造団輪宅の PR 活動の支援を行う。 ・住宅・非住宅の外構部の木質化を促し、木材需要の拡大を図るための支援を行う。	・みやざき木づかみ県民会議のホームページにて、情報を発信する。	

みやざき木づかい県民会議設置要綱

平成 25 年 1 月 17 日

環境森林部山村・木材振興課

(設置)

第1条 本県の林業を活性化し、豊かな森林を次世代に引き継いでいくためには、県民一人ひとりが、木材の良さや利用することの意義について理解と認識を深め、県民全体で県産材の地産地消に取り組むことが重要である。これらの取組を官民一体となって進めるため、みやざき木づかい県民会議（以下「県民会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 県民会議は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 県産材利用の普及啓発活動に関すること。
- (2) 県産材を利用した木造住宅の建築促進に関すること。
- (3) 住宅分野以外における県産材の利用促進に関すること。
- (4) その他県民会議の目的達成に必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 県民会議は、別表に掲げる団体等の代表者をもって構成する。

(役員等)

第4条 県民会議に次の役員をおく。

- (1) 会長1名
 - (2) 副会長1名
 - (3) 監事2名
- 2 会長は宮崎県知事、副会長は宮崎県木材協同組合連合会会長をもって充てることとし、監事は委員の互選により選出する。
- 3 会長は、県民会議を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。
- 5 監事は、事業及び会計を監査するとともに、県民会議が適正に運営されているかを監査する。

(会議)

第5条 県民会議は、会長が招集し議長となる。

- 2 県民会議は、委員の過半数の出席により成立し、出席者の過半数をもって決定し、可否同数のときは、会長が決定する。
- 3 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させることができる。
- 4 県民会議は、次の事項を決定する。
 - (1) 県民会議の要綱の改正
 - (2) 県民会議の取組方針の審議・承認
 - (3) 県民会議の事業計画・収支予算等の審議・承認
 - (4) その他県民会議の運営に関する重要事項

(幹事会)

第6条 県民会議に幹事会を置くことができる。

- 2 幹事会は、会長から付託された事項、業務運営に必要な事項及びその他必要な事項について審議、決定する。
- 3 幹事会の構成等必要な事項は、会長が別に定める。

(部会)

第7条 県民会議に部会を置くことができる。

- 2 部会は、会長から付託された事項について調査審議し、その推進に当たる。
- 3 部会の構成等必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

第8条 県民会議の事務を処理するため、宮崎県木材協同組合連合会及び宮崎県環境森林部山村・木材振興課に事務局を置く。

(会計)

第9条 県民会議の経費は、補助金及びその他の収入をもって充てる。

2 県民会議の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(委任)

第10条 この要綱に定めるもののほか、県民会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成25年1月17日から施行する。

別表

区 分	所 属
会 長	宮崎県
副 会 長	宮崎県木材協同組合連合会
委 員	公益社団法人 宮崎県森林林業協会 宮崎県森林組合連合会 宮崎県造林素材生産事業協同組合連合会 宮崎県林業研究グループ連絡協議会 特定非営利活動法人 ひむか維森の会 宮崎県木材青壮年会連合会 一般社団法人 宮崎県建設業協会 一般社団法人 宮崎県建築協会 一般社団法人 宮崎県建築業協会 一般社団法人 宮崎県建築士事務所協会 一般社団法人 宮崎県建築士会 宮崎県家具工業会 宮崎県森林土木協会 宮崎県地域婦人連絡協議会 宮崎県農業協同組合中央会 宮崎県経済農業協同組合連合会 宮崎県漁業協同組合連合会 一般社団法人 宮崎県商工会議所連合会 宮崎県商工会連合会 宮崎県中小企業団体中央会 一般社団法人 宮崎県工業会 公益社団法人 宮崎県医師会 社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会 国立大学法人 宮崎大学 宮崎県PTA連合会 宮崎県私立中学高等学校協会 宮崎県幼稚園連合会 一般社団法人 宮崎県保育連盟連合会 一般社団法人 宮崎県バス協会 公益社団法人 宮崎県物産貿易振興センター 公益財団法人 宮崎観光協会 特定非営利活動法人 宮崎文化本舗 株式会社 宮崎銀行 株式会社 宮崎太陽銀行 株式会社 宮崎日日新聞社 NHK宮崎放送局 株式会社 宮崎放送 株式会社 テレビ宮崎 農林水産省 九州森林管理局 宮崎森林管理署 国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター 宮崎水源林整備事務所 宮崎県市長会 宮崎県町村会
事 務 局	宮崎県木材協同組合連合会 宮崎県山村・木材振興課